

竜洋東卓球スポーツ少年団

1、沿革

竜洋東卓球スポーツ少年団は、昭和50年頃当地域中平松在住の土屋久男氏によって創部され、竜洋東小学校の講堂を使用して活動を始めました。当初は、竜洋東小学校の講堂は傾斜があり卓球台を置くにも場所選びと工夫が必要でした。待望の体育館ができ、バレーボールクラブと一緒に活動を行いました。

大会は当初は、竜洋町卓球大会と県大会の2大会ぐらいでしたが、現在は各種大会も増え、団員の競技力向上と友愛・親睦を深めながら参加しています。

部員数は45名と単一小学校では県下有数の時代もありましたが、現在は12名と減少し、部員拡大に悩んでいます。

卓球は身近なスポーツですが、半面奥行きのある深いスポーツです。また体格は関係ないものの集中力が求められます。

2、指導目標

- ◎あいさつのできる子ども
- ◎思いやりのある子ども

あいさつがしっかりできる子は試合でも好成績を上げています。それは、あいさつを通じて練習にも気持ちを集中しているからだと思います。ボールを拾ってもらったとき「ありがとう」が素直にできる子どもに育てていきたい。

友達を求めての入部でも良いと思いますので、ワイワイ・ガヤガヤでもよしとしています。身近なスポーツであり、将来何かしらの形で楽しく続けられるよう活動を進めていきたいと思っています。

大会で良い成績を残していければ、子ども達の自信、楽しみにもなりますので技術の向上にも努力しています。

3、指導者の紹介

- 古田 政美 (東平松)
- 稲垣 克巳 (岡)
- 仲村 富男 (駒場)
- 鈴木 清也 (西平松)
- 川崎 陽平 (駒場)

